

雅歌6章(70人訳)

- 1 あなたの親族はどこに行ってしまったのでしょうか、女のうちに美しい人よ？あなたの親族はどこへ向かったのでしょうか？私たちに言ってください、私たちはあなたとともに彼を探しに行きます。
- 2 私の親族は彼の庭に下りていきます、スパイスのベッドへ、庭にいる彼の群れに食べさせるために、百合を集めるために。
- 3 私は私の親族のもの、そして私の親族はわたしのもの、百合の間で食させるもの。
- 4 あなたは美しい、私の連れあいよ、喜びよ、エルサレムの様に美しい、整列した軍隊のように恐ろしい。
- 5 あなたの目を私からそらしてください、それは私をうっとりさせる、あなたの髪はギレアデからあらわれたやぎの群れのよう。
- 6 あなたの齒は毛を刈り取られた羊のよう、それは、水洗いから出ている、それはみな双子を生む、そしてその中で不妊のものはない、あなたの唇は赤の糸、そしてあなたの話は心地よい。
- 7 ベールなしに見えるあなたのほほはザクロの外皮のよう、。
- 8 60人の妃がおり、80人のめかけがいる、そして乙女は数知れない。
- 9 私の鳩、私の完全なものはひとつ、彼女は彼女の母の唯一のもの、彼女は彼女を産んだものから選ばれたもの。
- 10 朝の様に見られるものは誰、月のように美しく、太陽のように選ばれたもの、整列した軍隊のように恐ろしいものは？
- 11 私はナツの庭に下りる、谷の実を見るために、ぶどうの花は咲いたか、ザクロが実をつけたかを見るために。
- 12 そこで、私はあなたに私の胸を与える：私の魂はそれを知らないが、それは私をアミナダブの馬車のようにする。
- 13 戻ってきなさい、戻ってきなさい、シュネムの女よ、戻ってきなさい、戻ってきなさい、そして私たちはあなたを見る、あなたはシュネムで何を見るのか？彼女は一群の軍隊のように来る。